

令和7年5月7日

ご門信徒 様

宗教法人 光照寺

住職 濱寄重信

第34回 定例法座 ためして仏教！！ご報告

タイトル 「よい人とはどんな人 わるい人とはどんな人ですか？」

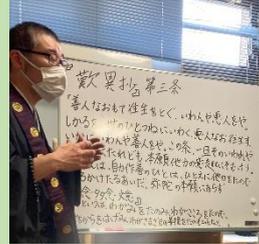
日 時：令和7年5月4日〔日〕13:30~15:30

場 所：光照寺

講 師：住職自動

スケジュール：

13:30	お勤め	13:45	座談
14:30	法話	15:20	解散



座談の様子

よいひと、わるい人とは？

自分にとって都合がよい人、都合が悪い人ではないでしょうか。自分の都合が変わるとよい人もわるい人も変わります。

世間で言う善人、悪人とは？

人間として、日本に住む上で守るべき法律を破る人を悪人と言います。

仏教で言う善人、悪人とは？

仏教で言う善人・悪人は、自分自身をどのように見るのか、どのように自覚しているのかということです。

善人とは、自分の努力によって善を作（な）し得ると思ひ、自分の理知や努力を励みとして、何とかすれば何とかかなると思つて生きている人ということでしょう。そこには、自分が正しい、間違いないという思いがあります。善人意識が、戦争もハラスメントも誹謗中傷も起こしているように感じます。果たして自分が正しくて、自分の理知や努力を励めば何とかかなるのでしょうか？

悪人とは、単に外から見た犯罪者とか不道徳な人という意味ではありません。実は私たちは、条件に恵まれ、支えられて生きているのではないのでしょうか。様々な犠牲やおかげの上に成り立ち、生かされていると自覚している人を悪人と言います。

悪人には、自識（じしき）の悪人（自分は悪人だと思っている人）、自覚の悪人（自分は悪人と自覚し、善人になろうと努力する人）、自傷の悪人（自分は悪人であったと本当に気づき、善人に成ろうと努めても果たせず心傷める人）、と三様があると教えられます。自我欲が強い為、条件によって善人意識と三様の悪人意識を行き来し、定まらないのが私のようなのです。だからこそ教え（私を支えているお陰様）を聞き続ける必要性を感じました。